

山口がもっと好きになる情報誌



Sight Yamaguchi vol.13 2021

室町時代の 山口を知る。

室町時代、西日本有数の大名としてその名を知られた大内氏は、最高の栄華を極めた当主・義隆の自刃後間もなく滅亡し、突然歴史の表舞台から姿を消します。その時、山口で何が起こったのか。今の山口のまちの基礎を築いた大内氏の謎のひとつを、独自の視点でひも解きます。

CONTENTS

■巻頭特集

大内義隆の遷都計画

—もうひとつの戦国時代—

- ・大内氏の京都志向&アジア志向
- ・「大内文化」アクセスマップ

■特集2

「大内文化」の心を今も身近に

- ・ぷるん、雅な 山口外郎
- ・守り伝え、未来につなげる大内塗と大内人形

■Pick Up Event

山口ゆめ回廊博覧会情報

600年経っても
愛されておるとは
喜ばしい。
わしも空から
見守つとるぞ



大内義隆

■巻頭特集

大内義隆の遷都計画

—もうひとつの戦国時代— p.1

- ・大内氏の京都志向&アジア志向 p.4
- ・「大内文化」アクセスマップ p.8

■特集2

「大内文化」の心を今も身近に p.9

- ・「大内文化」を受け継ぐⅠ
ぶるん、雅な 山口外郎
その歴史と美味しさのヒミツ p.10
- ・「大内文化」を受け継ぐⅡ
守り伝え、未来につなげる
大内塗と大内人形 p.14

■PicK Up Event

山口ゆめ回廊 博覧会情報 p.19

■彩都山口“匂”情報 p.23

- ・山口市産業交流拠点施設、誕生
- ・新山口駅南口駅前広場リニューアル
- ・「ナンブエリアRAP」
- ・全国初の「承和昌宝」鑄損じ銭と大型建造物跡を発見
- ・国指定名勝「常徳寺庭園」リニューアル
- ・「徳地やまのいも」

■レノファ山口 ホームゲーム情報

■ふるさと納税のご案内

□プレゼントクイズ

「彩都山口」のweb版は、コチラから。

<http://sight-yamaguchi.jp/>

彩都山口

大内義隆の遷都計画

—もうひとつの戦国時代—

現在の山口のまちは、室町時代に西日本の有力大名であった大内氏が行ったまちづくりが基礎になったといわれています。現在の山口県を中心に九州北部から中国地方西部にかけて支配していた大内氏は、地方政治だけでなく幕府の政局にもたびたび関与し、室町時代の政治史にその名を残しています。また、朝鮮通交や日明貿易など東アジア諸国との交易を通じて、国外にもその名が知られていました。

大内氏が統治していた山口では、国内外の文化を積極的に受け入れた「大内文化」が花開き、京都から多くの公家や文化人が山口を訪れていました。日本にキリスト教をもたらしたサビエルも大内氏を頼って山口を訪れています。

大内義隆が当主となった頃、中国地方では尼子氏が台頭し、大内氏の領国を脅かすようになっていました。尼子氏を攻めるため、義隆は1542年に出雲国へ出陣しますが大敗。以降、義隆は各地へ軍を送り支配領域を拡大していきます

が、自らは出陣しませんでした。やがて、そうした義隆の姿勢に不満を抱いた陶隆房(後の晴賢)ら重臣たちが起こしたクーデターにより義隆は自刃。その後当主となった義隆の甥の大内義長も毛利元就のクーデターにより自刃させられ、その家臣もまた毛利元就に滅ぼされた」という戦国時代の下克上の典型的なものとしてよく知られています。

しかし近年、さまざまな角度からの研究が進み、新しい見解がいろいろと示されています。そのうちのひとつが今号で紹介するプリンストン大学のトーマス・D・コンラン教授による「大内義隆の遷都計画」です。独自の視点で「大内氏の歴史」をひも解くコンラン氏にお話を伺いました。

16世紀頃の山口

大内義隆が日本の都を京都から山口に移す「遷都計画」を練っていたとは、今までにない大胆な説ですね。

トーマス・D・コンラン氏(以下、コンラン氏)は、西日本の有力大名大内氏の本拠地だった16世紀前半の山口の繁栄ぶりを考えると、1551年の山口の政変を、文化に重きを置き武を軽んじた義隆の弱さによってもたらされたというこれまでの通説には無理があると私には思えたのです。私には、この政変は大内氏の強さを恐れたために仕組まれた「クーデター」と考える方が自然だったのです。



トーマス・D・コンラン氏
Thomas D. Conlan

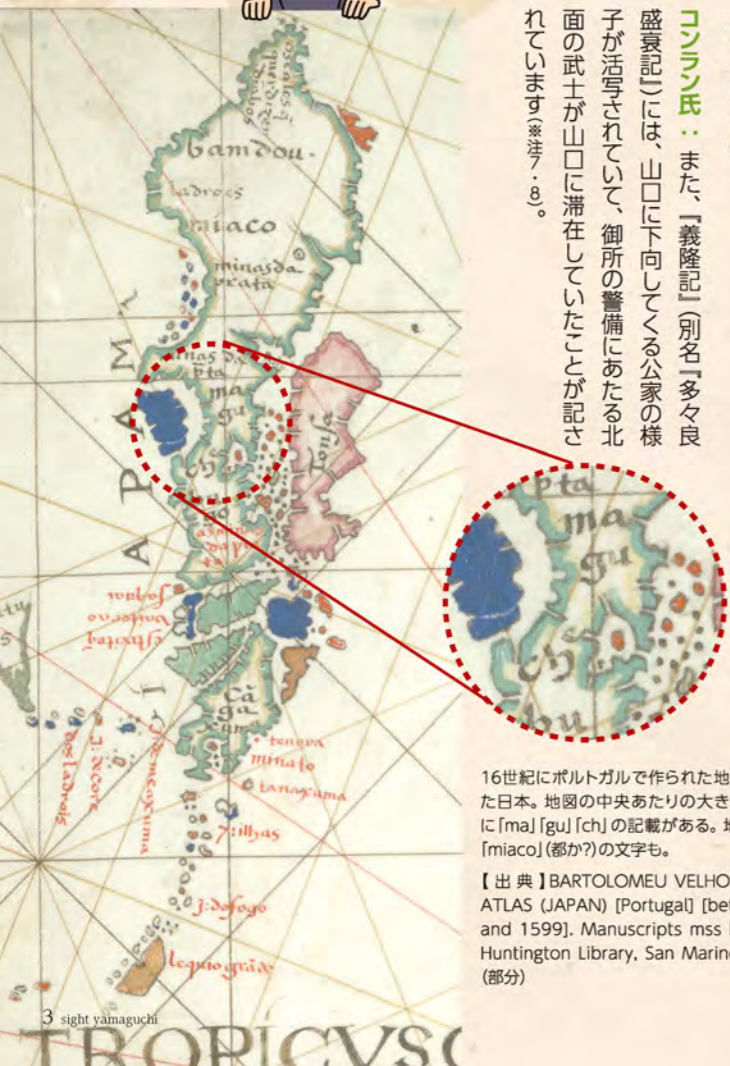
米国プリンストン大学教授(東アジア史)。10~16世紀の日本における戦争や儀式の実態、政策意思決定のあり方や理念、社会構造について研究している。現在、15・16世紀における宗教と政治の役割と同時代の中心的存在であった西日本の大名大内氏についての著書を執筆中。著書に「図解 戦国時代 武器・防具・戦術百科」(原書房)ほか多数





大政大略の大内氏館跡(龍福寺)

大内氏ゆかりの遺跡として、1959年に「大内氏遺跡附凌雲寺跡」として国の史跡に指定された。一帯は14世紀末以降に大内氏がこの地に本拠を移して以降、義隆が亡くなるまで大内氏の政治、経済、文化の中心地であった。館跡の調査では建物や庭の跡、大内氏の権力を物語る多数の遺物などが発掘されている。これまでに調査をもとに、館跡に室町時代の2つの庭などが復元された。ひとつは写真手前に映る大きな池泉庭園で賓客の接待などに使われた「公の庭」として、もう一つは館北西部で発見された枯山水庭園で「私的な庭」として使われていたと考えられている。



16世紀にポルトガルで作られた地図に掲載された日本。地図の中央あたりの大きく割れた部分に「miaco」[miaco] [ch]の記載がある。地図上方には、「miaco」(都か?)の文字も。

【出典】BARTOLOMEU VELHO PORTOLAN ATLAS (JAPAN) [Portugal] [between 1550 and 1599]. Manuscripts mss HM 44. The Huntington Library, San Marino, California (部分)

強い大内氏を潰すために仕組まれたクーデター?

コンラン氏…室町時代、海外との貿易で莫大な財を成していた大内氏は、その財力により幕府や朝廷に影響を及ぼすようになっていきました。山口はその大内氏の権勢を示すまちだったのです。

例えば、16世紀に作られた欧州の地図(ペーシ左下の地図参照)には「MAGUCHI(山口)」の文字があります。また、日本を訪れていたポルトガル人たちの書簡には、山口を10万の人口を誇るリスボンに例えたり、「当国にある大きなものひとつ」とした記述があります。山口に滞在したサビエルの書簡にも、「1万以上の住民からなる都市」とあります。つまり、諸外国から見た場合、山口は大都市として認識されていたのです(※注1)。

朝廷や幕府のあった京都はどう見られていたのですか?

コンラン氏…当時、京都



絹本着色大内義隆画像。龍福寺所蔵(県指定文化財)毛利隆元が義隆の七回忌に描かせたと伝わる

義隆が遷都を企てた理由

なぜ義隆は遷都を計画したのでしょうか?



コンラン氏…当時京都を含む畿内は、三好氏と細川氏の軍勢が度々衝突し情勢が不安定でした。山城権守であり朝廷の庇護者であった義隆は、天皇と公家の安全を図るため、京都から山口に天皇を移す遷都計画に着手したのではないかと私は考えています。

は度重なる戦で荒んでいました。例えば、1551年に京都を訪れたサビエルは、「打ち続いた戦争のためにひどく破壊され、焦土と化している」と本国に送った書簡に綴っています(※注1)。

一方、その頃の山口は?

コンラン氏…京都から遠いため戦に巻き込まれることもなく、大内氏が貿易で得た富により繁栄していました。大内氏は、京都や伊勢から数多くの寺社を勧請し建立していたので、荘厳な寺社を備えた山口のまちは、荒廃した京都とは真逆の環境にあったといえます。



義隆は、一度も京都に行ったことがないにも関わらず、当時最も著名な大名の一人でした。その富と権力を使い有力大名との関係を構築し、朝廷との関係も他の大名に比べて親密だったのです。

朝廷を支える立場にあった義隆

直系最後の当主であった義隆の時代は大内氏の最盛期といわれていますが、まさにその言葉どおりですね

コンラン氏…当時京都は政情不安定で、政

そうお考えになる根拠というか、何か史料があるのですか?

コンラン氏…私の考えの根拠となっているのは古文書です。

まず、義隆が山城権守に補任されたことが古文書に記録されていますが、これはとても重要な根拠になっています。また、節会の準備をするために多くの公家たちが山口へ赴いたと書かれている古文書もあり、それらも義隆の遷都計画を示唆していると私は考えています。

なるほど。例えばどんな史料が?

コンラン氏…義隆の遷都の動きを伝える三つの古文書があります。

まず、「中国治乱記」には当時の中国地方の政治状況を「その頃の京都は乱にて帝位も穩やかならず。周防の山口に内裏を建立し、天子もこの方へ移し奉るべし。山口には大内殿があり、二条殿、伝法輪、三條殿、持明院中納言殿、そのほかの公家衆も皆、山口へ下向した」と記しています(※注2)。つまり、公家衆の動きは山口に内裏を建立するためと書かれているのです。

治面で京都を支配下においていた三好氏は朝廷に敵対的であり、朝廷へのお金の流れを妨害していました。そのような中、義隆は京都で行われる朝廷儀礼を財政面で支援し、1548年には従一位に昇進するなど自らの権威を高めていました。また、1551年、義隆は京都を含む「山城権守」へ補任されています(※注2)。山城国に住んでいないにもかかわらず、都を護り管理する役人として朝廷が指名したのです。このことは、朝廷が義隆をいかに頼りにしていたかを示しています。

なんと、大内氏が朝廷の後ろ盾となり、その財政を支えていたとは！驚きです。

コンラン氏…その一例を挙げると、1553年に義隆は後奈良天皇の即位儀式の費用二千貫文を負担しています(※注3)。二千貫文は、一国の税収1年分に相当する額です。また、主な朝廷儀礼のためとして毎年二百貫文を朝廷に献上し、それ以外にも儀式や儀礼の度に多額の金銭や献上品を上納し、御所の修復費用なども負担しています(※注3)。義隆の朝廷への経済的援助は他の大名を大幅に上回る額で、それは政変の前年まで続けられていました。1551年の政変後、朝廷が政治統制をするために行われていた儀式礼の費用は義隆の死によって賄われなくなり、義隆の財政的支援を失った朝廷は困窮を極めたと伝わっています(※注4)。



大内氏滅亡後の1557年、毛利隆元により館跡に義隆の菩提寺・龍福寺が建立された。現在の本堂は、明治時代に大内氏の氏寺・興隆寺の釈迦堂が移築されたもの。重要文化財。龍福寺境内には資料館があり、大内氏や毛利氏に関連した貴重な資料が展示されている



また「足利季世記」には、「この頃は京都で大乱があるので、公家衆も皆、大内殿を頼みにして周防へ下向しているので、禁裏様も行幸をこへなされるとよい」と大内殿は長年にわたって支度をしてきたが、このような災がおこってしまったと記されています(※注5)。これは、「中国治乱記」の内容を裏付けるとともに、義隆が長きにわたって後奈良天皇の山口移住を計画していたことを示唆していると考えられます。

そしてついで、「室町殿日記」でも天皇を山口に移そうとする計画に触れています。

この三つの文書はまったく別の流れで書かれていますので、遷都に向けた義隆の動きが当時広く世間に知られていたということを示しているといえます。

「節会」は、朝廷で最も大切にされている儀礼ですが、当時京都から山口に下向してきていた公家たちは皆、その節会の専門家が節会に関わる立場にありました。「義隆が新年の「節会」を山口で行えるように呼び寄せたため、公家たちが山口に赴いた」と書いたものもあり(※注6)、関連した記録を総合すると、畿内の政情不安を背景に義隆は山口で新年の「節会」が行われるように行幸を計画し、準備・実行していたと考えられます。

「節会」の再興は、京で貶められていた朝廷の地位を回復する意味があると思われる。私は、義隆はまず公家を山口に呼び寄せ、その後、天皇の山口行幸を目指していたのではないかと考えています。(原稿ベースに補正)



大内氏の アジア志向

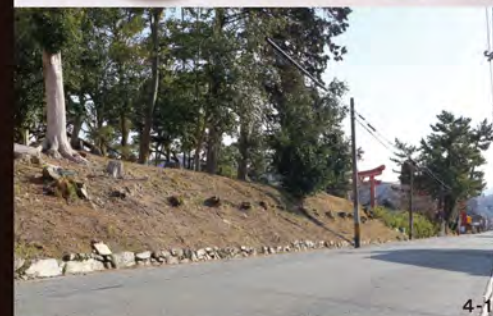
大内氏の莫大な財力の源は、海外との交易で得られた富でした。14世紀末からの朝鮮交易をはじめ、15世紀半ばからは明との貿易も手掛け同時代では並ぶもののない優れた貿易家だった大内氏。海外との交易は富だけでなく、当時の権力者たちがこぞって入手を願った大陸の最先端の文物も山口にたくさんもたらしました。大内氏は、そうした外来の文化を積極的に取り入れ、日本固有の文化と融合させた独自の文化を発展させました。

1. 大内氏遺跡の「凌雲寺(りょううんじ)跡」は、館跡から5kmほど離れた山間部にある。現在残るのは、惣門跡とされる長さ約60m、高さ約3m、幅約2m余の豪壮な石垣のみ。石組み方法が日本のものとは異なり、朝鮮半島や沖縄の城の石垣の作り方に似ている
2. 凌雲寺は義興の菩提寺とされ墓と伝わる石塔などもあるが、謎が多かった。2009年から始まった発掘調査では、「大内蔵」の文様が入った瓦が出土するなど新たな発見が次々ともたらされている。新たな歴史がひも解かれることが期待されている
3. 洞春寺(とうしゅんじ)観音堂。特殊な曲線を持つ華頭窓や棧唐戸の扉、禅風の四半敷瓦の床など、同じ時代の和様建築の寺とは異なる異国風の建築デザインになっている。重要文化財
4. 洞春寺に残る一切経蔵の礎石。大内氏は自らの安寧や繁栄を願うためや寺社への寄進の品として用いるため朝鮮半島から大蔵経を大量に輸入していた。この地には高麗版大蔵経を取めた輪蔵があったが、毛利氏によって蔵ごと近江の三井寺に寄進され、今は礎石のみが残る
5. 瑠璃光寺(るりこうじ)五重塔内の一層目に安置された、阿弥陀如来と25代大内義弘の像を祀った須弥壇。禅宗様式の須弥壇は通常方形で、円形のものには他に例がなく非常に珍しい。大内氏が中国や朝鮮の影響を受けたものではないか
6. 乗福寺(じょうふくじ)跡で出土した全国的にも珍しい朝鮮系の瓦。日本の寺院の瓦に用いられる巴文や唐草ではなく、鳳凰や龍など朝鮮王朝に関する建物などに用いられる文様が施され、三角形をした滴水瓦や龍頭など日本瓦にはない形のものも。製法も朝鮮半島の技術で造られているという。「発掘された日本列島2021」(P.7参照)に出版予定
7. 大内氏の氏寺・興隆寺に義隆が寄進した梵鐘。この鐘の特徴は、和様の鐘と朝鮮の鐘の様式がミックスされたデザインであること。大内氏が自らのルーツを誇示したものか。直径約111cm、高さ約189cmは当時の西日本で最大級の大きさで、大内氏の権力を象徴するものだった。重要文化財
8. 1972年、興隆寺境内跡地から備前焼の大きなかめに入った推定89,000枚もの膨大な数の銅銭が出土した。明代の永楽通宝が最も多く、対明貿易で富を手にした大内氏が寄進した可能性が高いと考えられている(写真提供:山口県立山口博物館)

大内氏の 京都志向

大内氏の時代、雪舟をはじめさまざまな文化人や多くの公家たちが、大内氏の拠点として繁栄していた山口へと下向してきました。大内氏は下向してきた彼らから京の文化やしきたりなどを吸収し、山口を一流の文化都市としてさらに発展させるべく努めていました。残された記録や大内氏遺跡等の発掘調査からは、花の御所に似た造りの館を設け都の作法で客をもてなすなどしていた大内氏の強い京都志向が伺えます。

1. 毎年7月20日～27日に行われる山口祇園祭は、24代大内弘世が京都から勧請した八坂神社の例祭で600年の歴史を持つ。祭で舞われる鶯(さぎ)の舞は、京都の祇園会で行われていた笠鉦を移したものとされている。山口祇園祭の鶯の舞の出し地は義隆ゆかりの黒地藏前。地藏のある堂の前地区の住民たちによって代々伝えられてきた
2. 2011年、大内義興が、將軍職を追われ山口へ下向した足利義隆をもてなした献立が再現され、全国的に大きな評判をよんだ。地元食材はもとより日本の北から南までの高級で珍しい食材を用いた32の膳で構成されており、大内氏の繁栄ぶりを伺わせる豪華さ。この再現を元に室町時代の味が楽しめる料理が開発された(p.7参照)
3. 大内氏館跡からは魚の骨などの食物残渣や大量の土師器(はじき)皿が出土し、当時の食生活を知る貴重な資料となっている。出土した土師器皿には手づくねの京都系のものでロクロを使った薄手の在来系の2種類があり、儀礼や宴会に使用される皿に京都系のものを使用していたのは大内氏の京都志向を示しているといえる
4. 大内氏館跡の北側、八坂神社の境内には、「築山(つきやま)」と呼ばれる大内氏の別邸があった。居館の位置や規模を示す土塁が残り、国の史跡に指定されている。現在、築山跡のうち史跡南東部の旧菜香亭跡地に史跡公園の整備が進められている。2022年オープン予定
5. 常栄寺(じょうえいじ)庭園「雪舟庭」。義隆の祖父、政弘の母の菩提寺・妙喜寺があった地で、雪舟に築庭させたと伝わる。政弘は遣明船による大陸貿易や朝鮮交易により莫大な財を成し、応仁の乱で荒れた京都から雪舟をはじめ多くの文化人を山口に招き、文化の振興に力を入れた
6. 山口のまちなかには今もたくさんの寺社があるが、大内氏によって京都などから勧請されたものも少なくない。古熊(ふるくま)神社は北野天満宮を、八坂神社は祇園社を弘世の時代に勧請したと伝えられている
7. 政弘によって山口の総鎮守と定められた今(いま)八幡宮。社殿は、大陸貿易で莫大な富を得た義興が造営した。重要文化財
8. 義隆が今八幡宮に寄進した罌口。直径約80cm、厚さ30cmの銅製で、銘文から戸屋(現在の福岡県)の鑄工・大江宣秀の作であることがわかっている。なお、義隆が興隆寺(こうりゅうじ)に寄進した梵鐘(P.5)も同じ大江の作である。山口市歴史民俗資料館で常設展示。重要文化財



1551年の政変の 本当の首謀者

大内義隆がそこまでの権力を手中にしていたとは驚きました。では、「大内氏を潰すためのクーデター」説の根拠を教えてくださいませんか？

コソラン氏…まず第一に、「中国治乱記」や「足利李世記」などの記録から、当時義隆の山口への遷都計画は広く世間に知れ渡っていたと考えられること。それにより、義隆による山口遷都への対抗勢力からの妨害があったと考えられます。

第二に、義隆を自刃に追い込んだ山口の政変では、大内氏一族や家臣だけでなく山口に滞在していた公家たちもその多くが殺され、公家たちが山口に持ってきていたと考えられる「節会」に関する資料やさまざまな記録物が、政変時に全て焼失したと考えられること。

実は、1551年のことを記録した史料は他の年と比べて極端に少ないのです。私は、これは義隆の遷都の企てに与した人と、彼らが残した記録が山口の政変に巻き込まれて失われたためではないかと考えています。

後ろで政変を操っていた首謀者によって全てがなきことにされた、と。

コソラン氏…応仁の乱で京都が一番荒ん



政変後の山口、 そして日本は…

1551年の政変後、山口はどうなりましたか？



コソラン氏…義隆を自刃に追い込んだ陶晴賢はその後、毛利元就との敵島の戦いで敗死。政変後、大内氏を継いだ娘婿の大夫晴英は改名し大内義長を名乗るも、1557年、山口へ侵攻した毛利軍により滅ぼされ、これにより大内氏は滅亡します。

直系最後の当主・義隆なき後、山口はそれまでの繁栄を取り戻すことができませんでした。山口のまちは二度も火事に見舞われ、「破壊される前は日本におけるもっとも人口稠密な都市の一つであった。しかし、今は往時の繁栄の面影はない」状態になったといえます（※注10）。大内氏滅亡の影響は、大内氏の領地はもろろもつと広範な地域に及び、西日本全体が貧しくなりました。

大内氏が治めていた山口の崩壊後、日本もまた変化を余儀なくされた、と。

コソラン氏…明は大内氏に代わって大陸貿易を担おうとした大友氏に「こつ尋ねた」といいます。「日本の国王はどこに?」。これは、当時大陸貿易を独占していた大内氏の治める山口が対外的には美質日本の首都と考えられていたことを示しています。政変後、それまで大内氏が担っていた大陸貿易は、府内や長崎へと拠点が移りますが、外海での武力



でいた頃でさえ、記録の数は1551年よりはるかに多い。興味深いことに、京に暮らしていた公家たちが書いた日記や記録も1551年のものは全く残っておらず、朝廷の財政に深く関わっていた山科言継の日記も義隆の山城権守補任の1週間後以降の記録が全くなく、記録再開は1552年です（※注9）。この前例のない記録の不在は、遷都計画を潰した権力者たちに都合の悪いことが故意に消されたのだと私は推察しています。

義隆の弱さにつけこんだ家臣らによる謀反だと考えるには無理がある、とお考えなのですか。

コソラン氏…陶晴賢は遷都計画に反対していましたが、陶氏こそ下剋上の主役にふさわしいと今までは考えられてきました。しかし私は、山口の政変を本当に仕掛けたのは、京都の三好氏だと考えています。

当時、三好長慶と彼の後継者は、足利将軍を殺し、主君である細川氏と戦い、最後は家臣が東大寺に放火までして京都で権力を掌中に収めようとしていました。そんな三好氏にとって、朝廷の財政的な後ろ盾となり遷都を計画し、山口を日本の政治・経済・文化の中心にしようとしていた義隆は、ぜひとも倒すべき敵であったと考えられます。



衝突や大内氏滅亡により活発化した倭寇の動きなどにより大陸貿易は停滞します。私は、1551年は日本の政治史の大転換点と考えます。それまで千年もの間、日本の政治の中心は朝廷でした。義隆の遷都計画はその終点にあたり、この年以降、朝廷の役割は変わりました。朝廷は「勝てば官軍」のような正当性を与え続けますが、公家による政治は消滅。代わりに出現したのが武力による統治モデルで、以降日本ではしばらく動乱の時代が続くこととなります。そういう意味で、山口で政変の起きた1551年は日本の歴史においても非常に重要な年といえるのではないのでしょうか。

おわりに

大内氏の歴史についての新たな見解の一つとしてこの巻頭特集でご紹介したトーマス・D・コソラン氏は、繁栄を極めてから滅亡に至るまでの一連の義隆の動きを「遷都計画」として解釈されています。しかし一方で、同じ一連の義隆の動きを「遷都計画」ではなく、

P.19~P.22に関連情報あり! **山口ゆめ回廊博覧会 information** ※詳細は博覧会HPでご確認ください

ゆめ散歩PREMIUM
開運! 西の京・山口、風水パワスポ巡り

風水を駆使してつくられたまち「西の京・山口」を地元の名物ガイドとまち歩きするプログラム。龍福寺のある大殿エリア一帯で実施

- 9月25日、10月9日・23日、11月13日・27日
- 要予約 ●定員 5~10名
- 参加費 3,000円 ●集合場所:山口市菜香亭

Yumehaku Art & Food in RURIKOJI

五重塔前の香山公園を舞台に、圏域の食材や工芸品を取り入れた食とアートのイベント

- 9月19日~21日
- 要予約
- 定員 各回20名程度
- 料金 未定



大内氏がまちづくりを行う際に京都の鴨川に見立てたと伝わる一の坂川。桜とグンボタルの名所として親しまれ、両岸には情緒あるまち並みが続く。カフェや和菓子店などが点在し、観光のまち歩きや散策エリアとしても人気



瑠璃光寺五重塔
大内氏時代の文化を代表する建造物。足利義満との戦いで戦死した25代義隆を弔うために弟の盛見が建立したと伝わる。国内に現存する五重塔のうちで10番目に古く、室町時代中期における最も秀でた建築物と評されている。国宝。写真は毎年秋、瑠璃光寺五重塔の前庭にロウソクを灯して行われる「山口ゆめ回廊」。仄かな明かりに照らされた幽玄な雰囲気包まれる

**大内氏の貴重なお宝が
全国巡回展でご覧いただけます!!**
発掘された日本列島 2021

- 主催・文化庁ほか
- 2021年6月5日~11月21日(予定)
- 東京都江戸東京博物館(〜7月4日まで)ほか全国2か所を巡回予定

国内の発掘調査の最新の成果や地域研究の成果を紹介される展覧会です。山口からは「大内文化」をテーマに、大内氏関連の遺跡から出土した遺物などを出展します。お楽しみにも!!

ミミズク土偶(下ヶ戸貝塚出土/我孫子教育委員会蔵)

体験 information

「大内御膳」

大内氏が将軍をもてなした料理をもとに(P.4参照)、山口の名物料理として創作された「大内御膳」。室町時代の味を忠実に再現するため、当時は存在しなかった「しょうゆ」「砂糖」を用いずに調理されている。湯田温泉の旅館・ホテルで提供中。現在提供中の「完献」は「弘世」と「義興」2つのコースと大内御膳弁当の3つで、価格は3,000円(税別)から。要事前予約。価格など詳細は観光情報サイト「西の京 やまぐち」で

<http://yamaguchi-city.jp/ouchigozen/eat.html>



特集2

「大内文化」

の心を 今も身近に

— 山口外郎と大内塗 —

室町時代に花開いた「大内文化」は、数百年の時を経た現在もなお、山口のまちのあちこちに、そして人々の暮らしの中にも受け継がれ、名残をとどめています。

中でも身近で、その魅力をいつ・誰とでも気軽に分かち合えるのが山口外郎と大内塗です。名菓・山口外郎と伝統工芸・大内塗に秘められた「大内文化」の心をさぐってみましょう。



※本稿は、2019年5月に山口市で開催されたトランス・D・ジョンソンの講演会「大内氏の運都計画—もう一つの戦国時代—」(大内氏歴史文化研究会主催・山口市文化財保護課調製)および「山口県地方史研究123号」(山口県地方史学会発行)に発表された同氏の論文「大内義隆の運都計画を再構成したものです」。

注1 東京大学史料編纂所「日本関係海外史料訳文編」イ工
ズ入会員宛書翰

注2 大内書 天文20年「新校群書類従公部」10のp.20

注3 「後奈良天皇実録」二巻 P.43

注4 「山口県史料編中世2」龍福寺文書

注5 「新校群書類従公部2」

注6 「改定」龍福寺文書

注7 大内義隆記「新校群書類従公部」大内殿滅亡次第

注8 「山口県史料編中世1」

注9 龍福寺の目次

注10 フォイス「日本史」山口県史料編中世1

注11 大内義隆 藤原 三三ノリウツ書房、2019年

「義隆自らが率兵上洛するためであった」とみる研究者もいます(※注1)。

このように、文献史料や考古資料などをとくに徐々にひも解かれていく「大内氏の歴史」についてはまだまだ謎が多く、これららもまだまだな解釈が出てきそうです。

深まる謎に、ますます目が離せません!!



ミュージアム information

龍福寺資料館

龍福寺境内にある資料館には、大内義隆像や発掘で出土した貴重な史料が展示されている

- 開館時間 9:00~17:00
- 年中無休
- 高校生以上200円、小・中学生150円



山口市歴史民俗資料館

大内氏や山口の歴史紹介をはじめ、大内氏館跡等からの出土品などを展示。発掘調査報告書も購入できる

- 開館時間/9:00~17:00 ※入館は16:30まで
- 休館日/月曜(祝日の場合は翌日)・年末年始
- 一般110円



2021年秋には中世・近世の武士に関する展示があり、大内氏関連のものも出展される予定です。

まち歩き information

大殿エリアのお店やイベントなどまち歩き情報は、「大路口ビー」のHPでチェック!!

大路口ビー

<http://ojilobby.sblo.jp/>



大内文化 information

大内文化についてもっと知りたい人は「隠れ歴史空間 大内文化まちづくり」サイトをご覧ください!

大内文化 まちづくり

http://ouchibunka.jp/information/basic_idea/index.html



ぶるん、雅な山口外郎

その歴史と美味しさのヒミツ

今、誰にとっても親しみやすい「文化」の「食」。とりわけ、長い伝統を受け継ぐ「名菓」には地元の歴史やさまざまな文化が反映されているものです。山口名菓といえば、外郎。「大内文化」を受け継ぐ山口で生まれ、市民はもとより多くの人々に愛されている山口外郎の特徴や歴史を改めてひも解き、味わってみましょう。



ここが違う、山口外郎

ぶるん、と柔らかかな口当たりと小豆の風味、ほのかな甘さが魅力の外郎は、山口市民の身近なおやつ。接待の茶菓子にもよく使われ、山口名物の代表格としてお土産の定番にもなっています。湯田温泉では多くの宿の客室に用意されており、外郎はいわば山口のおもてなしの一翼を担っているといえるでしょう。

「外郎」という菓子は全国各地で作られ、一般には「うるち米の粉・餅米の粉と砂糖などを混ぜて型に流し込み、蒸し固めた後、糸で小さく切った棹菓子（しざし）と解説されています。中でも小田原や名古屋、京都あたりの品がよく知られ、いずれも米の粉らしいもちっとした口当たり、食べ応えも十分です。ところが山口の外郎は、口に運ぶとまず、ぶるん、とした食感が伝わってきます。近年人気のタピオカをも連想させる口当たりは、各地の外郎とは異なるもの。この繊細ともいえる食感こそが山口の外郎の特徴なのです。

独特の食感、米や餅の粉ではなく、山菜の一種・ワラビの根から取ったワラビ粉を主材料としていることから生まれています。「ワラビのせと」と呼ばれるワラビの根のデンプンは、夏場に人気のわらび餅の原料。その特性が、山口の外郎にゼリーのような柔らかかな弾力性をもたらしているといわれています。

外郎菓から派生した菓子？

全国何力所かに伝わる外郎の起源は、14世紀、足利義満の時代にさかのぼります。元末期の中国から来日した陳宗敬（ちんそうけい）という人が將軍に招かれて京に上り、医業に励んだことが外郎誕生のきっかけでした。陳氏は、中国で礼部員外郎という官職にあったことから陳外郎と名乗り、京では治療や投薬に腕を奮ったとか。子孫はやがて応仁の乱で荒廃した京から小田原に移って「透頂香（とうていこう）」という妙薬を考案しました。それが漢方薬「外郎」として広まり、菓子の外郎もこのころから派生したようです。「菓を献上する際のもてなし菓子として考案された」「菓の口直しとして作られた」「菓と色の似た菓子を同じ名としたなど、諸説があります。

元祖・福田屋の白外郎

応仁の乱の後、大内政弘は対明貿易にも力を注ぎ、西国一の守護大名となりました。文化の奨励を図った政弘は、雪舟をはじめさまざまな文化人を山口に呼び寄せ、その後、大内義興、義隆の時代まで続く華やかな天・内文化の基礎を築きます。

「当時、菓子としての外郎も山口に伝わり、大内氏に献上された、と考えられます。」と、語るのは、山口で最も古くから続く外郎店・御堀堂の社長・田中真樹氏です。



★ 生外郎の日持ちは、2日ほど。山口で買ったその日に召し上がっていただくのがおすすめですが、翌日まで置いておくならば常温で。冷蔵庫に入れると固くなってしまい、生外郎ならではの風味やもちもちした食感を損なってしまいます



1. 山口では、季節のご挨拶や冠婚葬祭などさまざまな生活の場面で外郎が贈答品として使われています。また製造元ならではの出来たての外郎を、一個ずつバラ売りしているお店もあり、山口っ子には身近なおやつとして親しまれている一面も
2. 翌日以降にお渡しするお土産には、真空パックタイプがおすすめ。常温で10～20日程度日持ちがします。少しかたくなった外郎は、真空パックのまま湯せん、もしくは真空パックから出して、軽く蒸すか電子レンジで少しあたためると出来たての柔らかさをもどって美味しくいただけます

山口市内では現在多くの菓子舗が外郎を製造・販売していますが、1927年創業の御堀堂は四代にわたる老舗です。御堀堂の初代は、十数代続いた外郎の老舗・福田屋で修業し、製造法を伝授されました。萩往還で店を営んでいた福田屋は、江戸中期、砂糖の普及に伴って白砂糖を入れた「白外郎」を作り始めました。当時、各地の外郎には黒砂糖が使われており、白砂糖の上品な甘さは画期的だったに違いありません。福田屋の「白外郎」は人気を呼び、これが山口の外郎の元祖となったのです。「白外郎」と記された看板は今も福田家に残されています。

「当時の主材料は他の外郎と同じ米粉だったようですが、白砂糖の優雅な甘さには他にないもので、際立っていたはず」（田中氏）その味が評判となり、福田屋は参勤交代の休憩所や、お伊勢参りに代わる山口大神宮詣の際の茶屋として繁盛したようです。当時の外郎の人気は「毛利の殿様外郎で茶を飲む」と、歌にも詠まれています。



「食べやすさとおいしさは日本一、の山口外郎です。地元山口では「外郎があれば安心」と思っていたに違いない」と横濱出身の田中社長

お店ごとに味も風味も食感もさまざま

山口銘菓「外郎」の味っていくつくらいあるの？ それはもうたくさん!! なんです(笑)。夏みかんや栗、桜など季節の味が楽しめるもの、小豆の粒がそのまま入った豆外郎、そしてラムレーズン風味やコーヒー風味といった現代的なものまで、お店ごとに工夫を凝らした味が選り取り見取り。いろいろ食べ比べて、お好きな一品をみつけてくださいね。



江戸中期以降の福田屋では、白外郎の人氣が高まるにつれて原材料の必要量も増え、高価な米粉の使用が困難になってきました。そこで代用として使われ始めたのがワラビ粉でした。当時、山口には多くのワラビが生じ、毛利氏は良質なワラビ粉を糊として幕府に献上していました。菓子材料にもなるワラビ粉を米粉の代わりとして使ってみたところ、独特の口当たりの外郎ができたのです。その柔らかさ・淡泊さは、白砂糖の上品な甘さとも見事に調和して比類なき「山口外郎」が誕生しました。福田屋は1946年に廃業しましたが、ふるんとした食感の山口外郎は、御堀堂をはじめ山口の各菓子店で作り続けられています。

食感の秘密



昔、御堀堂では櫛と呼ばれる道具と糸で切ったそうですが、今はギターの弦を張った切替で押し切りしているそう



絶妙な水加減が滑らかな舌ざわりの決め手!

7 カットして一つずつ包装する

5 シタと練ったわらび粉・小麦粉をまぜて外郎のタネをつくる

抹茶外郎用の抹茶は、この練りの段階で投入!



3 こしあんと蜜を練り合わせて「シタ」を作る



1 小豆を炊いてこしあんを作る



蒸気が立ち込め、美味しさを予感させる小豆の香りで室内が満たされます



6 型に外郎のタネを流し込み蒸籠で一気に蒸しあげる

簡単そうに見えて、実は指の骨が折れることもあるという猛烈に力のいる工程



4 本わらび粉、小麦粉を練る



2 上白糖、黒糖を煮て「蜜」を作る

練りに欠かせない「水」も大切な脇役。御堀堂二代目は良水を求め、自ら井戸を掘ったとか

白&抹茶の外郎用に上白糖蜜を、黒外郎用に黒糖蜜を作ります

「あんこは苦手だけど山口外郎だけは別」という声もあるそうで、気合いが入るといって「あんづくり」



外郎ができるまで

御堀堂さんで外郎の作り方をうかがってみました!!

※「外郎ができるまで」と★印の写真は御堀堂提供



菓子はその街を物語る

京の都を模してまちづくりをした大内弘世をはじめ、大内氏代々が京の文化を取り入れて築いた「大内文化」は、山口らしさをたたえながら開花し、受け継がれて来ました。山口外郎もまた独自の味わいを確立し、

山口名菓として愛され続けてきました。その伝統は未来へも脈々と引き継がれていくことでしょ。元相・福田屋の流れを組む白外郎は、程よい甘さと優しい口当たり、雅な藤色まで、山口のまちのおっとりとした風情にぴったり合っています。歌舞伎の十八番「外郎売り」でも賑々しく語られる小田原の外郎(菓)が色鮮やかな西洋絵画とするならば、山口外郎は水墨画。雪舟の絵のように、単色ではかなさ・静寂を漂わせながらも、独自の魅力をしっかり伝えていきます。「土地に伝わる菓子は、自ずとそのまち・土地柄を表わすもの。文化なんです(田中氏)という言葉通り、山口外郎は、今に伝わる「大内文化」の「ついで」のついで。」

伝統とチャレンジ

元相・福田屋の廃業から70余年、21世紀、そして令和を迎えた現在の山口市では、定番の白外郎、黒外郎に加え、豆や栗の入ったもの、抹茶や果汁風味のものなど、バラエティ豊かな外郎が各店で製造・販売されています。御堀堂では、福田屋直伝の白外郎と、二代目が考案した黒外郎、三代目発案の抹茶外郎の3種のみを作り続けていますが、嗜好の変化も敏感に取り入れ、原材料の産地なども常に吟味して、現代人の味覚に合った伝統の味を伝えていくよう尽力しています。「山口外郎の元祖は白外郎ですから、黒砂糖入りの黒外郎はパリエーション第1号と言えるのですが、既に伝統の味になっています。時代や嗜好の変化に添えていく姿勢こそが伝統の継承を支えていくわけです。当社がスタンダードを守り伝えていくことで、他店に新たなチャレンジが生まれ、山口外郎のパリエーションが広がって次世代へ受け継がれていくと考えています」と、田中氏。

守り伝え、未来につなげる

大内塗と大内人形



山口駅で目を引くモニュメントや
まちのガス会社の巨大タンクに描かれた
殿様と姫様、一対の夫婦人形は、
大内氏の時代をほのぼのと思い起こさせます。
その大内人形と、同様の漆器・大内塗は、
山口が誇る伝統的工芸品。「大内文化」を受け継ぐ
大内塗と大内人形の歴史を振り返り、
未来を見据えた取り組みと、
挑戦を促す進取の気風を紹介しましょう。

大内氏の輸出品

山口には「大内文化」の名残りを今に伝える工芸品・大内塗が伝え継がれています。渋い朱色の漆の上に大内氏の家紋・大内菱を金箔で配し、秋の草花を繊細に描いた上品な漆器は山口の代表的な名産品として不動の地位を保っています。1989年には国の伝統的工芸品に指定されました。文箱や盆、椀や茶托など大小さまざまな製品は、お土産品としてはもちろん、山口の多くの家庭でも長年愛され続けています。

大内塗のルーツは、14世紀半ば、大内氏24代弘世の時代にさかのぼります。大内氏は明(中国)や朝鮮との貿易に力を注ぎ、漆器はそれらの国への重要な輸出品として盛んに生産されました。

16世紀半ばに大内氏の滅亡に伴って貿易が終焉すると、漆工芸の勢いも衰えました。技術はその後も引き継がれ、椀などの生産は続けられました。やがて明治時代になると、天皇の山口巡幸に際して天覧のための古器物調査に当たった近藤清石(秋出身の郷土史研究者)が大内氏時代の「漆絵枝菊椀」を発見し、これを手本に山口町野小路の鞘師・岩本梅吉に模造させ、大内塗を再興しました。これが現在の大内塗へと続いているのです。

新たな挑戦「Ouchi夫婦」

大内塗の代表的な作品に男女一対の大内人形があります。この大内人形は、大内弘世にまつわる誕生物語を秘めています。それは、その昔、京から大内弘世に嫁いだ姫が遠く華やかな都を恋し

がったため、弘世は都から多くの人形職人を呼び寄せ、屋敷中を人形で飾ったところ、姫はたいそう喜び、以後二人は幸せに暮らし、人々は屋敷を「人形御殿」と呼んで弘世の愛妻家ぶりを称えた…というお話。大内人形はこの伝承をもとに生まれましたと言われています。漆塗りの人形は全国的にも珍しく、大内人形は夫婦円満の象徴として一時は高い人気を誇っていましたが、時代の変遷とともに需要が減り、大内塗の各工房も新たな展開を模索するようになりました。

「伝統の踏襲だけで生き残っていくのは難しい。時代に対応した新たな挑戦をしていくことが大内塗の継承につながると思っています。」

と、大内塗漆器振興協同組合事務局長の中村理恵さん。

その新たな挑戦の代表作といえるのが、大内人形の誕生秘話にちなんで考案された卵形の夫婦人形「Ouchi夫婦」です。乾燥させた木地に漆を塗り重ね、金箔を貼り、蒔絵付けを施して仕上げる工程は大内人形と同じですが、顔の表情や衣装の色、文字入れなどを選んで注文できるオーダーメイドの1対です。ブルーやピンクなど意外な色の漆を選べるのも楽しく、世界で一つだけのオリジナル夫婦人形として、結婚の記念品やウエルカムボードにも人気です。



「Ouchi夫婦」は色・衣装の柄・顔それぞれ数種のカタログ見本から選んでオーダーできます。メガネやヒゲなどで似顔絵風にするのも楽しい!



大内人形 マトリョーシカ



くり抜いた木材(左)に伝統的な大内人形の顔と衣装を描き、入れ子構造にした「大内人形マトリョーシカ」。人形の中から小さな人形、その中からさらに小さな人形が現われ、微笑を誘う3個1組です

コラボから広がる進化

また、ロシアの民芸品を参考に、大内人形の中に一回り小さい大内人形、その中にさらに小さい大内人形が入っている入れ子構造の「大内人形マトリョーシカ」もユニークな作品です。2018年に山口県立大学が設立した地域デザイン研究所と山口市、大内塗漆器振興協同組合との産学公連携から生まれました。大内人形が創作されてからの大正・昭和・平成の三代をイメージし、3個一組で親・子・孫の繁栄を象徴する縁起物になっています。

「入れ子構造に欠かせないくり抜きは、人形の形状をデジタルデータ化し、市内の家具工房の協力も得て成功させました。給付けなどには職人が伝統の技を奮い、新旧の技術のコラボによって完成した品です(中村さん)」

もちろん新たな挑戦は大内人形のバリエーションに限ることなく、持ちやすく滑らないユニバーサルデザインの**新・山口椀**や、高台(臺)に大内人形の顔を描いた**大内人形椀(子ども椀)**なども同様のコラボから誕生しています。



「お客様の心に寄り沿って製作する姿勢が欠かせませんし、お買い上げの際には嫁に出すような気持ちになります」と、伝統工芸の継承に常に前向きな中村事務局長



萩焼に漆を塗って焼き上げる「山口陶漆器」も2013年の誕生以来、新しい工芸品として人気です。山口県の代表的伝統工芸品である萩焼と大内塗を、漆の焼き付け技法の導入により融合させたこの陶漆器は、従来の漆器より傷つきにくく実用性に優れています。デザインも現代感覚にあふれ、大内塗伝統の渋い朱色に加えて緑・オレンジなどカラフルな色漆まで使われているのは「Ouchii夫婦」にも共通する魅力です。

伝統継承への エールと工夫

数々の挑戦は、大内人形をはじめとする大内塗の魅力を新しい見せ方で伝え、未来に継承していく力になっています。さらに地元・他業種からの頼もしい応援も見られます。

大内人形は市内に5軒ある大内塗の各工房(18ページ参照)で製作されていますが、人形の表情や衣装の柄、肌の色などが工房ごとに微妙に異なります。豎小路の工房は大内塗を楽しく理解していくには、製作体験も見逃せません。山口ふるさと伝承総合センターでは、大内塗職人の指導による大内塗著作体験を長年実施しており、誰でも参加することができます。また、独自に製作体験を行っている工房もあります。小物を作りながら大内塗の歴史に耳を傾け、完成した自作品を持ち帰る体験プログラムは、幅広い年代層に人気です。



伝統的な大内人形は夫婦円満の縁起物や雛人形として根強い人気がありますが、アクセサリやアマビエ人形のようなお手頃価格の新製品もいろいろ作られています

「進取の気風」のまち

山口ふるさと伝承総合センターが立つ豎小路界隈は、「大内文化」の名残りをとどめ、まち歩きが楽しいエリア。毎年秋には山口新進アーティスト大賞受賞者の作品展示をメインにした「まちなみアート」というイベントが開催され、山口の風土に見守られながら創造されたさまざまな作品に出会うことができます。

昔ながらのまち並みで、新たな感性に触れる…そんな新旧コラボ体験を味わえるのは伝統を尊重しながら新たな挑戦にも意欲的な、「進取の気風」を持つ山口だからこそ。そのしなやかさは「大内文化」ゆかりの外郎と大内塗にも確かに受け継がれています。ゆっくりと味わい、愛でてみませんか？

☑菓子店・山口風月堂では、全工房の大内人形の中から好みの一对を選び、大内人形を模した最中**「大内もなたん」とセット**にして購入することができます。全ての工房の大内人形を見比べて選ぶことができるのはここだけ。

「大内人形の愛らしさに魅せられ、もっと広く、多くの方々に知っていただきたい」と、東京からこの店に嫁ぎ、大内もなたんを考案した渡邊さち子さん。

「大内人形」と「大内もなたん」のセット

好みの大内人形と最中をセットにできます。大内人形そっくりの包み紙を開くと、最中のお顔も人形と同じように微笑んでいます。殿様は小豆粒あん、姫様は京・宇治の抹茶あん。パッケージもおしゃれです。2018年度グッドデザイン賞(「地域・コミュニティ」カテゴリー)受賞。1日の販売数量に限りがあるので、購入は事前予約がおすすめ(山口風月堂 ☎083-922-2112)



大内もなたん

新・山口椀

- 1.萩焼とのコラボ「山口陶漆器」では萩焼の貫入(ヒビ)の代わりに漆が入っています。自由自在な形状も陶器の利点を生かしたものです
- 2.「新・山口椀」は江戸時代に日常使われていた「山口椀」をイメージ。拭き漆のため木目が見えて現代的な生活工芸です
- 3.「子ども椀」は伏せると高台に描いた大内人形の顔が。幼児の「初めてのお椀」としてお薦め



山口陶漆器

子ども椀





山口県央連携都市圏域

山口ゆめ回廊博覧会

YAMAGUCHI YUME KAIRO EXPO

ゆめはんち

7つの市町でつなぐ、

7色の回廊



博覧会 EXPO

2021.7.1 thu - 12.31 fri

会場：山口県央連携都市圏域全エリア

山口県央連携都市圏域(山口市、宇部市、萩市、防府市、美祢市、山陽小野田市、島根県津和野町)の美しい伝統・文化や自然、食など圏域の魅力を全国に発信する「山口ゆめ回廊博覧会」が、7月1日、いよいよ開幕します!

会期中は、「7つの市町でつなぐ、7色の回廊」をテーマに、「芸術」「産業」「食」など地域の特徴を生かしたイベントや期間中だけの特別なまち歩きなど、「いま・ここ」だけのイベントが満載です。エリア内を巡って、いろいろな楽しさに出会ってください。

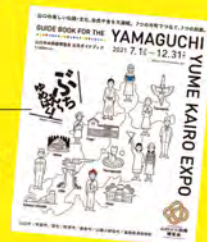
山口市をはじめ各市町のイチオシイベントをご紹介します!!

7市町の見どころが詰まった
博覧会公式ガイドブックを発売!

施設割引やノベルティがもらえる
お得なクーポン付き!!

¥1,100円(税込)
132ページ

- 発売日/5月下旬(予定)
- 販売場所/山口県・福岡県の書店・コンビニ、広島県・関東・関西の主要書店、Amazon
- 企画編集/文楽出版社



山口外郎の製造販売を行っている店

会社名	住所	電話
きれん製菓	〒753-0251 山口市大内千坊6-11-10	083-925-5522
田原屋	〒753-0214 山口市大内御堀6-2-17	083-922-2368
本多屋	〒753-0042 山口市駅通り1-4-5	083-925-1600
松田松栄堂	〒753-0056 山口市湯田温泉1-11-29	083-922-1164
御堀堂	〒753-0048 山口市駅通り1-5-10	083-922-1248

※一覧表は山口市物産事業者連絡協議会の登録社のみ紹介。市内の菓子舗では、上記以外にも山口外郎の製造販売を行っているところがあります。

大内塗漆器振興協同組合 組合員

会社名	住所	電話
a 桑原大内塗・大内人形製作所	〒753-0047 山口市道場門前1-2-5	083-922-1790
b 谷口漆香堂	〒753-0231 山口市大内氷上7-8-12	083-927-1871
c 富田大内塗	〒753-0034 山口市下堅小路12 (山口ふるさと伝承総合センター内)	083-928-3333
d 中村民芸社(組合事務局)	〒753-0214 山口市大内御堀4138	083-927-0619
e 大内塗工房ふるや	〒753-0015 山口市平野3-2-1	083-932-5737



6市町のイチオシイベント

【宇部市】

TOKIWA ファンタジア2021

夜の遊園地がメディアアートの美術館に変わります！ダイナミックな仕掛けや光輝くイルミネーションをお楽しみいただけます。

所 ときわ遊園地 時 11月下旬～2022年1月予定



撮影：谷康弘

【防府市】

すごいぞ！防府 秋の大イベント

歴史のまち・防府に楽しい催しが勢ぞろい！「アート」「体験」「マルシェ・食」等の多彩なイベントを展開します。

所 防府天満宮～周防国分寺～旧毛利家本邸 一带
時 11月上旬予定



【萩市】

着物ウィーク in 萩

着物の似合う街初代全国グランプリに選ばれた萩城下町で、日常とはまた違った「和」の世界を楽しみませんか。

所 萩・明倫学会、萩城下町界隈 時 10月1日～10日
※着物レンタルは要事前予約



【美祿市】

美祿ランタンナイトフェスティバル

台湾を代表するお祭り「台湾ランタンフェスティバル」で使用される大小様々なランタンが、美祿の街を鮮やかに彩ります。

所 美祿市役所周辺 時 9月下旬予定



【山陽小野田市】

創立50年記念 '21日本のガラス展巡回展

日本ガラス工芸協会の主催で3年ごとに開催される日本のガラス展の巡回展が中四国地方で初めて山陽小野田市で開催されます。

所 不二輸送機ホール(山陽小野田市文化会館小ホール)
時 10月10日～12月20日(予定)



【津和野町】

芋煮と地酒の会

日本三大芋煮に取り上げられた津和野町の伝統的な芋煮と地酒を共に味わう芋煮会を開催します。

所 殿町通り特設会場予定
時 10月中旬予定



山口市のイチオシイベント

びじゅチューン!×山口ゆめ回廊 なりきり美術館

NHK・Eテレで人気の「びじゅチューン!」でおなじみの世界が山口市にやってきます。なりきり美術館で遊んでみませんか?

所 NHK山口放送局、山口情報芸術センター[YCAM]
時 7月16日～8月22日
問 文化交流課 083-934-4155

中国地方
初開催!



アウトオブキッズニア Out of KidZania in やまぐち 2021

子ども達が楽しみながら地域の仕事にチャレンジできる職業体験イベントです。ワクワクする仕事を探してみよう!

所 KDDI維新ホール、中心商店街、湯田温泉ほか市内各地
時 7月31日・8月1日 問 観光交流課 083-934-2810

みんな大好き! KOMEZUKI祭

お米を中心テーマにした「アート」と「イート」のイベント。山口産のおいしいお米やおかず、お酒の飲食・販売ブースや、アート展示、ステージイベント等が楽しめます。

所 中央公園(YCAM前) 時 10月16日～24日
問 観光交流課 083-934-2810



【博覧会リーディングイベント YCAM特別企画】 坂本龍一 ART-ENVIRONMENT-LIFE2021 いま、改めて見つめ直す〈アート〉〈環境〉〈ライフ〉

音楽家の坂本龍一氏とアーティストの高谷史郎氏が、2013年にYCAMで制作・発表したインスタレーション作品を市内3カ所で展示する展覧会です。

所 山口情報芸術センター[YCAM]、YCAMサテライトA(山口市駅通り1丁目)、常栄寺雪舟庭
時 10月8日～1月30日 問 山口情報芸術センター 083-901-2222



[LIFE]



メインホールのある東側エントランス。ネーミングライツにより、ホール棟の名称は「KDDI維新ホール」に決定
高度な通信・音響機能を備え、コンサートやeスポーツなど多彩な催事に対応可能なメインホール



【お問い合わせ先】
新山口駅拠点施設整備推進室
☎083-934-2676

ことが期待されています。

【お問い合わせ先】



居住型の人材育成施設「アカデミーハウス」では、地元の企業や大学、地域、行政との交流や連携も



新たな産業やビジネスコミュニティの創出を促進する「Megriba」



セミナーや講演会、会議のほか、コンベンション・各種大会の分科会などに適した大小12の会議室。連結利用も可能

JR新山口駅北口西側に2021年夏、グラランドオープン!!
交流とにぎわい、新たなビジネスを創出!!
山口市産業交流拠点施設、誕生

ダンスをはじめ、小規模な発表会や作品展示など市民活動の場としても利用可能なメインスタジオ

7市町周遊イベント



地図を片手にエリア内に隠された宝箱を探す謎解きゲーム。ファミリー層に大人気です!



阿東・里山サイクリングツアー

ガイドさんと行く!
とっておきのまち歩き
『ゆめ散歩2021』

地元ガイドや専門家とのまち歩き、特別な場所でのちよっとぜいたくな体験など、地域の魅力を堪能できるプログラムがたくさん!

所 山口ゆめ回廊博覧会開催エリア内各所
時 7月~12月

リアル宝探しゲーム
『うちら! ななゆめ調査団!』

所 山口ゆめ回廊博覧会開催エリア内各所
時 7月3日~12月26日

<https://yumehaku.jp/> 詳しくはwebで



※各イベントの詳細&最新情報は「山口ゆめ回廊博覧会」webサイトでご案内していますので、そちらをご覧ください。
※掲載のイベントの内容は2021年3月現在のものです。予告なく中止・変更となる場合もあります。

観光&まち歩きにお役立ち!! シェアサイクル

山口市では、スマートフォンで登録するだけで、かんたん気軽に借りて返せる「シェアサイクル」のステーションを市内各所に設置しています。駅や観光スポット近くのバス停など、観光地巡りやまち歩きに便利なステーションもあります。「山口ゆめ回廊博覧会」の周遊にも、「シェアサイクル」をぜひご活用ください。



山口県庁前バス停

STEP 1

アプリをインストールして、
会員・決済手段を登録

※会費、登録料、維持費など一切無料
通信費のみ個人負担
※お支払いはクレジットカードのみ

STEP 2

ステーションでアプリを立ち上げ、
自転車についている二次元コードを
スマートフォンで読み込んで解錠!
利用開始になります。

【利用料金】
15分ごとに50円

STEP 3

返却場所のステーションで
自転車の鍵を閉め、アプリで
「返却」をタップして
「返却に成功しました」と
表示されれば返却完了

【利用可能期間】
~2021年12月末日(予定)

アプリ上でステーションの
最新情報を確認してご利用ください!

どのステーションでも
レンタルと返却が可能!!

ご利用には、
スマートフォンと
クレジットカードが
必要です!!

アプリの
ダウンロードは、
こちらから!!

※ご利用方法などのお問い合わせは
ecobike お客様サポート窓口まで
☎03-5308-0406(9:00~18:00)

乗り合いタクシーで楽々直行!! 山口市湯田温泉 ⇄ 山口宇部空港

スマート空港タクシー

片道通常料金約10,000円が
→【お一人様】3,000円~

STEP 1

アプリまたは電話で
飛行機の出発・
到着時刻の
3時間前までに予約

STEP 2

配車までの
スケジュールと
お迎え時刻を通知

STEP 3

予定時刻に
お迎え場所から
出発

STEP 4

約1時間で
目的地または
空港に到着

●アプリで簡単予約!
●当日・直前の予約が可能!(ご利用の3時間前まで予約OK)

ご予約、運行エリアや時間、
利用方法など詳しくはコチラから!
または、お電話でお尋ねください
☎083-902-0897

古くから雪舟庭として伝わってきた山口市阿東蔵目喜にある常徳寺庭園。江戸時代以降長い間地中に

雪舟がつくった?!
生誕600年の年に録る

国指定名勝
「常徳寺庭園」
リニューアルオープン

調査成果と出土した錢貨の概要は、「鑄錢司郷土館」にて展示しています



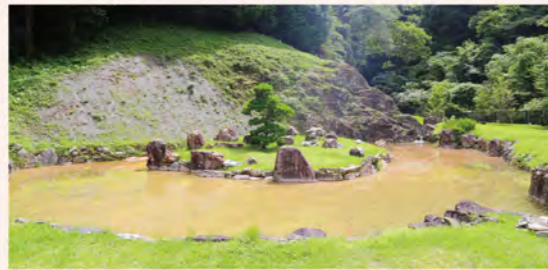
山口市鑄錢司11422 ☎ 083-986-2368
■ 開館時間9:00~17:00 ■ 月曜休館
■ 入館料/一般110円。18歳以下及び70歳以上の方、障がいのある方及びその付添人は無料

【お問い合わせ先】
文化財保護課
☎ 083-920-4111

大型建物跡が確認されました。これまでの調査から周辺には建物が多量存在する可能性があることが判明していますので、今後の調査により「周防鑄錢司」の実態解明が進むことが期待されています。



常徳寺庭園
アクセス



【お問い合わせ先】
文化財保護課
☎ 083-920-4111

◎常徳寺
山口市阿東蔵目喜1498
※常徳寺には人は常駐していません。ご自由に見学いただけます



徳地やまのいもの特徴は、粘りが強く、すりおろすと大変滑らかでもちもちとした食感となること。地元では、お好み焼きの生地にしたりサラダにしたりと、和洋を問わずあらゆる料理に使われて人気です。写真付きのレシピ集も作成されています。

南大門では直売のほか、お取り寄せでの購入にも対応。ご希望の方は、電話かFAXで問い合わせください



山口市徳地堀1565-1
TEL&FAX0835-52-1772
■ 開館時間 9:00~18:00
(1~3月は9:00~17:00)
■ 年末年始休館

【お問い合わせ先】
徳地総合支所農林課
☎0835-52-1115



〔注〕農林水産物・食品等の名称で、名称から産地を特定でき、品質や社会的評価の確立した特性が産地と結びついていることを特定できる名称の表示をいいます。

「徳地やまのいも」の収穫期は晩秋から冬にかけて。11月〜1月頃に徳地特産品販売所・南大門で購入できます。

ますので、一度、召し上がってみませんか。

駅が変わる、まちも変わる。
新山口駅
南口駅前広場
リニューアル完了

山口県の陸の玄関にふさわしい駅空間を目指して整備を進めていた「新山口駅南口駅前広場」が完成しました。今まで混在していたタコシーと一般車の乗降場を分離して混雑を解消。また、送迎用スペースの拡充やシェルター（屋根）の設置により、便利で快適にご利用いただけるようになりました。



明治時代、日本の近代化に尽くした長州出身の五人「内閣の父・伊藤博文」「外交の父・井上馨」「鉄道の父・井上勝」「造幣の父・遠藤謹助」「工学の父・山尾庸三」の顕彰碑

また、広場中央には、従来からある種田山頭火像に加え、新生明治政府の中心となつて活躍した山口出身の五人の若者「長州五傑（ファイブ）」の顕彰碑を新たに設置しました。新山口駅ご利用の際にご覧ください。



種田山頭火像。山頭火が昭和7年から6年ほど過ごした庵を復元した「其中庵」は、新山口駅北口から徒歩15分



シェルター（屋根）の設置で雨に濡れにくくなりました。柱には、種田山頭火の句と中原中也の詩が記されています

【お問い合わせ先】
都市整備課
☎ 083-934-2936

山口市南部エリア
プロモーション動画
「ナンブエリア
RAP」
好評公開中!!

山口市南部にある9つの地域の魅力的な景色や特産品、イベントなどをPRするプロモーション動画が出来ました。



市公式のウェブサイトやYou Tubeチャンネル「やまぐちちゃんねる」のほか、地域おこし協力隊が情報発信するFacebookでもご覧いただけます。

【お問い合わせ先】
定住促進課
☎ 083-934-2942



山口の方言で「みんな見て」という意味の「みなみ」という言葉を盛り込んだオリジナルのRAPをつかったテンポよく楽しい映像で、「南部9地域の魅力をみんなに見てほしい」という願いをこめて制作した動画です。ぜひ一度、ご覧ください。

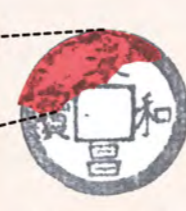
史跡周防鑄錢司跡にて
新発見続々

全国初の
「承和昌宝」
鑄損じ銭と
大型建物跡を発見

平安時代の錢貨鑄造所の跡地である「史跡周防鑄錢司跡」で山口大学と2018年度に共同実施した発掘調査で採取した土壌から、平安時代の錢貨である「承和昌宝」の鑄損じ銭の錢貨片が発見されました。遺跡からの出土は全国初で、平安時代の錢貨生産活動を知る上で大変重要な発見となりました。また2020年度の調査では、直径1メートル、深さ0.6メートルの柱穴が3メートル間隔で並ぶ南18メートル超、東西6メートルの



発見された「承和昌宝」の錢貨片



赤色部分が今回発見された破片の部位

2021シーズン 選手名鑑

※2021年3月1日現在の登録選手

GK(ゴールキーパー) DF(ディフェンダー) MF(ミッドフィールダー) FW(フォワード)



■ご当地シャレン選手/レノファ山口FCの選手が担当制で県・市町ごとのPRや応援などの社会連携(シャレン)活動を行います。

山口市は、レノファ山口FCのホームタウン!

応援しています!!
RENOFA YAMAGUCHI FC
レノファ山口FC

山口市では、スポーツを通じたまちづくりを進めています。

本市をホームタウンとする山口県初のプロサッカークラブ「レノファ山口FC」を応援してください。

レノファ 検索



2021明治安田生命J2リーグ試合日程表

山口市でのホームゲーム(維新みらいふスタジアム)開催日

節	開催日	KICK OFF	対戦相手
第1節	2月28日(日)	15:30	松本山雅FC
第3節	3月13日(土)	14:00	アルビレックス新潟
第4節	3月21日(日)	16:00	ファジアーノ岡山
第6節	4月4日(日)	14:00	栃木SC
第8節	4月17日(土)	14:00	ザスパクサツ群馬
第10節	4月25日(日)	14:00	京都サンガF.C.
第12節	5月5日(水・祝)	14:00	ジェフユナイテッド千葉
第14節	5月15日(土)	14:00	SC相模原「山口市サンクスデー」
第17節	6月5日(土)	13:30	愛媛FC
第20節	6月27日(日)	19:00	大宮アルディージャ
第22節	7月11日(日)	19:00	ジュビロ磐田
第23節	7月17日(土)	19:00	ブラウブリッツ秋田
第25節	8月14日(土)	19:00	ツエーゲン金沢
第27節	8月28日(土)	19:00	モンテディオ山形
第29節	9月11日(土)	未定	FC町田ゼルビア
第31節	9月25日(土)	未定	V・ファーレン長崎
第32節	10月3日(日)	未定	東京ヴェルディ
第37節	11月3日(水・祝)	未定	FC琉球
第39節	11月13日(土)	未定	ギラヴァンツ北九州
第41節	11月28日(日)	未定	ヴァンフォーレ甲府

※2021年3月31日現在、山口市で開催の決定している試合のみ掲載。
最新情報は、レノファ山口FCのホームページでご確認ください。



スタジアム(ホームゲーム会場) 維新みらいふスタジアムのご案内

ACCESS

- JR山口線で**
JR山口線 徒歩
新山口駅 約13分・210円 大歳駅 約1km・約12分 維新公園
- バスで**
新山口駅 防長バス/約20分・470円 維新公園
湯田温泉 防長バス/約5分・200円 維新公園
- タクシーで**
新山口駅 約20分・3,000円程度 維新公園
湯田温泉 約6分・1,000円程度 維新公園
- 車で**
湯田温泉スマートICから 約4km 維新公園
中国自動車道小郡ICから 約4km 維新公園
中国自動車道山口ICから 約12km 維新公園
新山口駅から 約9km 維新公園



座席種別	前売	当日	シーズンパス
VIP席(指定)	—	—	70,000
MS席(指定)	3,600	4,100	60,000
MA席(指定)	一般	3,100	50,000
	小中高	2,000	30,000
MB席(自由)	一般	2,500	38,000
	小中高	1,500	23,000
Mミックス席(自由)	一般	2,400	37,000
	小中高	1,400	21,000
BS席(指定)	一般	2,300	35,000
	小中高	1,300	20,000
BA席(自由)	一般	2,100	30,000
	小中高	1,200	18,000
ホームゴール裏席(自由)	一般	1,600	24,000
	小中高	1,100	16,000
アウェイゴール裏席(自由)	一般	1,600	—
	小中高	1,100	—



- チケット発売日/毎月第一木曜に翌月のホームゲームチケット発売開始
- 対象試合/2021明治安田生命J2リーグ ホームゲーム全試合 ※天皇杯、J1昇格プレーオフは対象外
- 2021シーズンパス特典/①「レノファ誕生15周年」記念モデルタオルフラッグプレゼント ②一般開門時間より30分早くご入場いただけます
- ワンタッチパス機能付きWAONカードで、全スタジアムのゲートにおいてお客さまの観戦履歴を自動的に記録
- ④シーズンパス×レノファアプリで、サイン入りグッズやグルメクーポン等を毎月抽選。おながいばいばい!
- ◆前売は、コンビニエンスストアやレノファ山口アンテナショップ等で販売しています。詳細はホームページ(<http://www.renofa.com/>)をご覧ください。





URL <http://sight-yamaguchi.jp/>



大内塗「Ouchi」夫婦

このハガキで「彩都山口」プレゼントクイズにご応募いただけます。

郵便番号、住所、氏名、年齢、性別、電話番号、右のクイズの答え、アンケートの回答をご記入の上、お送りください。正解者の中から抽選で10名様に山口市の特産品の詰め合わせをプレゼントします。当選者の発表は、賞品の発送をもってかえさせていただきます。

クイズの答え

「彩都山口」の感想をお寄せください。

皆様のご意見を今後の誌面づくりの参考にさせていただきます。

Q1 「彩都山口」をどこで入手されましたか？

1. 郵送で 2. 市役所や公民館等の公共施設で 3. 駅や観光案内所で
4. 道の駅や特産品販売所などで 5. ホテルや旅館等の宿泊施設で
6. 美容院や飲食店などのお店で 7. その他【具体的に：】

Q2 どの記事が面白かったですか？

1. 大内義隆の遷都計画
2. ぶるん、雅な 山口外郎
3. 大内塗と大内人形
4. 山口ゆめ回廊博覧会情報
5. その他【具体的に：】

Q3 山口市のどんなところに興味がありますか？

1. 歴史 2. 自然 3. 芸術・文化 4. 温泉
5. グルメ 6. その他【具体的に：】

Q4 山口市の中でどこか訪ねてみたい所がありますか？

訪ねてみたい理由があれば、それも教えてください。

場所【】

理由【】

Q5 今後、どんなテーマの記事を読んでみたいですか？

プレゼントクイズ

クイズ正解者の中から抽選で10名様に、山口市の特産品の詰め合わせをプレゼントします!! ふるってご応募ください。

Q 大内義隆が自刃に追いこまれる政変が、山口で起きた年は？

- ① 1551年
② 1553年
③ 1557年

●応募方法

左の応募ハガキを切り離し、必要事項をご記入の上、お送りください。

●応募締切

第1次/2021年9月30日(木)

第2次/2022年1月31日(月)※当日消印有効

【個人情報利用の目的】

ご応募いただいた際の個人情報は、誌面づくりの参考とプレゼント賞品の発送のみに使用致します。

LINE 山口市LINE公式アカウント
あります!

- アカウント名/山口市
- LINE ID/@yamaguchi-city

右の二次元コードを読み取るか、
LINEのホーム画面から
「山口市」を検索して
友だち登録をしてください。

登録は
こちら



山口市への「ふるさと納税」のお申し込みも、
web上で簡単に手続きできまーす!



山口市がもっと好きになる情報サイト
<http://sight-yamaguchi.jp/>



編集後記

前号の雪舟に続き、今号も室町時代の山口がテーマです。今回は山口を治めていた大内氏について、31代目の当主・義隆時代の出来事を通してご紹介しています。「大内氏、凄すぎる!!」と言わずにはおれない巻頭特集、お楽しみいただけただらうれしです。さて、特集した外郎や大内塗に加え、夏から秋にかけての山口は、7月は薫舞のある山口祇園祭、8月は紅提灯で町筋が染まる山口七夕ちょうちんまつり、秋には瑞瑞光寺五重塔をろうそくで彩るゆらめき回廊と大内氏関連のイベントが目白押し。大内の殿様の心を受け継ぐ山口で、みなさまのお越しをお待ちしています。

発行/2021年3月

山口市総合政策部企画経営課
〒753-8650 山口市亀山町2-1
tel.083-934-2746
<http://www.city.yamaguchi.lg.jp/>

Staff

制作統括 株式会社コア Writer 村上郁子
Editor in Chief 矢原玲子 Illustration やまでらわかな
Art Director 松本恵子 Photograph 蔵澄秀昭・安森信

取材協力

- 龍福寺
- 興隆寺
- 山口県立山口博物館
- 洞春寺
- 今八幡宮
- 常栄寺
- 御堂堂
- 大内塗漆器振興協同組合
- 山口風月堂

©本誌記事・写真・イラストの無断転載を禁じます。
※本誌掲載の情報は2021年3月31日現在のものです。
予告なく変更になる場合もありますのでご了承ください。

「ふるさと納税」で山口市を応援してください!

令和元年度の寄付額

4億26,164,744円(18,644件)

全国各地の方から多くのご寄附をいただき、誠にありがとうございました。

みなさまからお寄せいただいた貴重な寄付金は、以下の6つの中から寄付をされた方が選ばれた使い道に活用しています。

令和元年度ふるさとやまぐち寄付金の使い道

1 山口の個性を高め暮らしを楽しむ 「文化・スポーツ・観光なら山口」のまちづくり

5,085件 110,278,000円

文化・芸術・スポーツなどの地域資源を活用し、市民の豊かな感性や創造性を育む事業に役立てました。



湯田温泉まちなか整備事業
「湯の香通りリニューアル」

2 産業活力・地域雇用を創出する 「働く・起業なら山口」のまちづくり

1,137件 24,929,000円

企業誘致の強化、起業創業支援、中小企業への経営改善や事業承継支援など地産産業の振興をはじめ地域雇用創出の強化等に活用しました。



鑄銭司第二団地の整備

3 将来を担う子どもたちを育む 「教育・子育てなら山口」のまちづくり

4,734件 102,154,000円

猛暑対策として17の中学校と10の幼稚園の普通教室に空調設備を設置。小学校は令和2年度中に整備完了しました。



中学校の教室に整備されたエアコン

4 安全安心で快適な住環境 「安全安心」のまちづくり

1,169件 26,691,000円

自然災害に備えた施設整備や改修を進め、救急体制の強化、公共空間のバリアフリー化など安全安心の住環境に向けた取組に活用しました。



赤妻2号雨水貯留施設

5 生涯にわたって元気に暮らす 「健康長寿」のまちづくり

1,051件 26,398,000円

生涯元気でいきいきと暮らせるよう、高齢社会に対応した福祉サービスの充実や地域での高齢者の支え合い体制の整備等に活用しました。



運動器具を設置した健康増進スペース

6 まちづくり全体への支援

5,468件 135,714,744円

1~5のほか山口市に「住んでみたい、住み続けたい」と思っていたような事業に活用しました。



湯田温泉スマートICの整備

お礼の品や申込方法など「ふるさとやまぐち寄附金」について、詳しくは「彩都山口」のホームページをご覧ください。

<http://sight-yamaguchi.jp/donation/>

山口市ふるさと納税

検索



「ふるさとやまぐち寄附金」にご協力いただいた方には、お礼の品をお送りしています。

山口市自慢の農林水産品、銘菓、工芸品など300点以上の中から好きなものをお選びいただけます。

特集で取り上げた山口外郎や大内塗もあります!



阿知須牛

あいおえび

日本酒「山頭火」

湯田温泉

ゆめはんち
BUCHI E-YUMEKAIRO



7つの市町でつながる、

7色の回廊

博覧会 EXPO 2021.7.1 thu - 12.31 fri

会場：山口県央連携都市圏域全エリア

最新情報はWEBで!



DL「やまぐち」号

3~9月の土・日・祝を中心に運行
(予定)



2021年は、期間限定でディーゼル機関車(DL)の牽引で観光列車DL「やまぐち」号が走ります。表舞台に立つことが少ない「DL」の力強く豪快な走りをお楽しみいただけます

運行情報など詳しくは、SL「やまぐち」号ホームページで

SLやまぐち 検索
<https://www.c571.jp/>



県外からのアクセス



※2021年3月現在の情報です。所要時間は目安です。



POST CARD

料金受取人払郵便

7 5 3 8 7 9 0

山口中央局
承認
4055

山口市亀山町2-1

総合政策部 企画経営課

「彩都山口vol.13」プレゼント係 行

差出有効期間
2022年
3月31日
切手不要



必要事項をご記入ください

ふりがな			年齢	歳
お名前 (必須)			性別	男・女
ご住所 (必須)	〒 -			
TEL (必須)	() -	FAX	() -	
ご職業				

※応募締切／●第1次／2021年9月30日(木) 当日消印有効
●第2次／2022年1月31日(月)